

若い力で企画・運営してみませんか
成人式典の検討委員の募集

平 成22年成人式典の企画や当日の運営にスタッフとしてご協力いただける人を募集します。

会 議 8月～12月の平日夜間に7回程度開催

対 象 ①平成元年4月2日から同2年4月1日生まれの市内在住者
②平成2年4月2日から同3年4月1日生まれの市内在住者

募集人数 各4人

応募方法 「成人式典検討委員希望」と明記し、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、職場または学校名・学年、電話番号を書いて、次のいずれかで社会教育課へ

- ・郵送(〒857-8585、住所不要)
- ・ファクス(25-9682)
- ・Eメール(syakai@city.sasebo.lg.jp)

締め切り 6月30日(火) ※郵送は消印有効。

※①②が協力して同式典を企画・運営します。また、昨年度の検討委員4人も参加します。

※②は平成23年の式典まで検討委員として、ご協力をお願いします。

社会教育課 ☎24-1111

交通事故にご注意ください
交通死亡事故が多発しています

こ としに入ってから、市内で交通死亡事故が多発し(5月1日現在で7人死亡)、すでに昨年1年間の交通事故死亡者数(5人)を超えています。

死亡事故は、高齢者が早朝・夕暮れ時に道路を横切ったときに自動車にはねられたり、バイクと4輪自動車が発生したりして発生したケースが多く、これらに共通する事故原因は、車の運転者の前方不注意やちょっとした油断です。交通事故の約8割は、こうした安全運転義務違反から起きていると言われています。

交通事故を未然に防ぐためには、わたしたち一人一人が交通安全の意識を再度認識・徹底することが必要です。ご理解とご協力をお願いします。

交通安全の心掛け

運転者の場合

- ・子どもや高齢者の近くでは、減速・徐行するなど「思いやり」と「気配り」のある運転をする。
- ・飲酒運転は絶対にやめる。

歩行者の場合

- ・早朝・夕暮れ時は、明るい色の服装で歩く。
- ・道路を渡るときは横断歩道を渡る。

交通安全対策課 ☎24-1111

→平成23年7月24日までにアナログ放送が終了

地上デジタル放送対策はお早めに！

平 成23年7月24日までに今までのテレビ放送(アナログ放送)は終了し、以降、アナログテレビのままではテレビ放送(デジタル放送)を見ることができなくなります。

ことし6月からは、相浦、世知原、吉井地域で地上デジタル放送が始まります。お住まいの地域で地上デジタル放送が始まりましたら、早めの対策をお願いします。

地上デジタル放送中継局の開局情報

中継局	放送エリアの目安	チャンネル(周波数)					
		NHK総合	NHK教育	NBC	KTN	NCC	NIB
烏帽子	市内全域						
相浦	相浦地域	42ch	40ch	22ch	34ch	38ch	16ch
世知原	世知原地域						
吉井	吉井地域	23ch	30ch	24ch	26ch	48ch	50ch

※放送エリアは、地上デジタル放送推進協議会ホームページ(<http://www.dpa.or.jp/>)でも確認できます。

地上デジタル放送の視聴方法

次の①～③のいずれかの方法で視聴できます。地上デジタル放送の視聴について不明な点がある場合は、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター☎0570-07-0101にお尋ねください(BSデジタル放送は、BSデジタル放送お問い合わせセンター☎0570-01-2011)。

- ①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える。
 - ②地上デジタルチューナーを買い足す。
 - ③ケーブルテレビで視聴する。
- ※①②はUHFアンテナが必要です。

山間部等に設置されたテレビ共同受信施設への助成

本市では、山間部などテレビの電波が弱い地域の皆さんが、地域の「テレビ共同受信施設」(大型アンテナやケーブル等で構成された施設)を地上デジタル放送対応に改修する場合や、新たに地上デジタル放送対応の同施設を設置する場合に、費用の一部を助成します。詳しくは情報政策課にお尋ねください。

情報政策課 ☎24-1111

シリーズ「石木ダム建設」②
将来の水需要について

石木ダムは本市の水道用水として日量4万m³の新規水源開発を予定しています。このうち約3万m³は現在の不足水量を補うため(先月号参照)、残りの約1万m³は将来の水需要を確保するためです。

本市では将来の水需要を、①人口の予測②給水世帯数の予測③下水道の普及率などから主に推計しています。現在、本市の人口は減少傾向にありますが、核家族化が進行し給水世帯数が増加していることに加えて、下水道の普及率の上昇に伴いトイレの水化が進んでいることから、今後も水の使用量が増えることが予測されます。

これらの水需要の増加要因と、人口減少や漏水対策、節水機器の普及など水需要の減少要因を合わせて検討した結果、平成29年までに新たに日量1万m³が必要となりました。地域振興策としての企業誘致や、異常気象に対する備えも考慮し、新たな水源確保は大変重要であると考えています。

水道局経営管理課 ☎24-1151

シリーズ「させぼエコツーリズム」①
「させぼエコツーリズム」ガイドラインを策定

本市を訪れる皆さんが市民の皆さんと共に、自然、歴史、地場産品など地域の特性に親しみ、交流を楽しむ新しい観光のあり方「させぼエコツーリズム」。その素材である地域の資源をいつまでも大切に守り伝えていくために、来訪者、事業者、市民の皆さんを対象にマナー・ルールを示したガイドライン(市ホームページなどで閲覧可)を策定しました。

佐世保の魅力を来訪者や次の世代に伝えるため、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

今後は、自然を感じる暮らしに触れる「させぼエコツーリズム」の取り組みについてご紹介していきます。

市民の皆さんへのお願い

- ①地域の自然や歴史を知り、それらを大切にすることを心掛けましょう。
- ②風習や地場産品など、地域の特性を表すものは地域の宝です。それらを楽しみ、次世代に伝えましょう。
- ③自然環境の保全に努め、ごみになる物は断る、ごみを減らす、使える物は再使用する、資源物はリサイクルするなど環境にやさしい暮らしに心掛けましょう。

企業立地・観光物産振興局 ☎24-1111

→心豊かな「佐世保っ子」を育むために！

佐世保市教育振興基本計画を策定

学 校、家庭、地域社会が一体となった「学びの社会」を実現するため、平成21年度～25年度までの教育行政に関する具体的な行動計画「佐世保市教育振興基本計画」を策定しました。

計画の策定に当たっては、本市の教育をめぐる現状と課題を6つの項目(学校教育、青少年を育む環境、生涯学習、スポーツ、人権、文化芸術)にまとめ、これらの共通の課題「家庭と地域の教育力向上のための徳育の研究」「生きる力の大本となる食育の推進」「子どもの読書の推進」「体験を重視した幼児教育の推進」に重点を置いて検討しました。

計画書には、課題解決に向けた6つのプロジェクトと17のアプローチ(取り組み)を掲載しており、概要は次のとおりです。計画書は、市ホームページでご覧いただけるほか、6月末までには小・中学校や各地区公民館などにも設置する予定ですので、ぜひご覧ください。

「子どもたちは地域の将来を担う宝」という共通認識の下、市民と行政が一体となって、心豊かな「佐世保っ子」を育成していきましょう。

6つのプロジェクトと17のアプローチ

①学校教育の充実

- ①幼児教育の充実②確かな学力の向上
- ③豊かな心を育む教育の充実
- ④安全・安心な教育環境の確保⑤高等・専門教育の充実

②青少年を心豊かに育むまちづくり

- ⑥青少年を育む教育コミュニティづくりの推進
- ⑦青少年の健全育成

③生涯学習のまちづくり

- ⑧学習機会の充実⑨拠点施設による生涯学習の推進

④スポーツに親しめる環境づくり

- ⑩スポーツ機会の充実⑪学校体育の推進
- ⑫競技スポーツの振興⑬スポーツ施設の充実

⑤人権が尊重される社会づくり

- ⑭人権に関する啓発・教育の推進
- ⑮学校における人権教育の推進

⑥文化芸術に親しめる環境づくり

- ⑯市民文化の振興⑰伝統文化の保存・活用・継承

教育委員会総務課 ☎24-1111